



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月10日

上場会社名 リゾートトラスト株式会社

上場取引所

東・名

コード番号 4681

URL <http://www.resorttrust.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 伊藤 勝康

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長

(氏名) 嶋根 直登

(TEL) (052) 933-6519

四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日

配当支払開始予定日

平成28年12月12日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	65,207	△0.8	4,727	△46.7	4,761	△50.2	3,612	△48.8
28年3月期第2四半期	65,721	10.3	8,870	△3.3	9,570	△17.0	7,062	△6.1

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 △2,718百万円(-%) 28年3月期第2四半期 5,778百万円(△34.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	33.95	31.17
28年3月期第2四半期	67.27	61.23

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	392,798	107,696	26.3
28年3月期	407,430	112,515	26.6

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 103,486百万円 28年3月期 108,352百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	23.00	—	23.00	46.00
29年3月期	—	23.00			
29年3月期(予想)			—	23.00	46.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	152,000	6.9	14,200	△23.8	15,100	△22.3	10,200	△21.8
								95.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 社(社名) 、除外 社(社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期2Q	108,518,999株	28年3月期	108,518,999株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	2,000,842株	28年3月期	2,223,954株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期2Q	106,413,366株	28年3月期2Q	104,991,928株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページをご覧ください。
- ・決算補足説明資料については、本日、当社ホームページ(投資家情報-IR資料)に「決算説明資料」を掲載いたします。(http://www.resorttrust.co.jp/ir/)

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報等)	12
(重要な後発事象)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①当第2四半期連結累計期間の概況

※当第2四半期連結累計期間の「計画」については、平成28年5月13日付の公表数値に基づいております。

	前第2四半期 連結累計期間 (実績)	当第2四半期 連結累計期間 (実績)	当第2四半期 連結累計期間 (計画)	前年同期比	計画比
売 上 高	65,721百万円	65,207百万円	71,700百万円	△0.8%	△9.1%
営 業 利 益	8,870百万円	4,727百万円	6,800百万円	△46.7%	△30.5%
経 常 利 益	9,570百万円	4,761百万円	7,700百万円	△50.2%	△38.2%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	7,062百万円	3,612百万円	5,000百万円	△48.8%	△27.7%

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境に改善が見られる一方で、個人消費の停滞感が続くなか、中国市場の成長鈍化の影響や英国のEU離脱問題による経済環境への影響など、海外発の景気下振れリスクを抱えながら、先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況下、当社グループの当第2四半期連結累計期間の状況は、平成28年8月に、新たに完全会員制リゾートホテル「ラグーナベイコート倶楽部」（愛知県蒲郡市）の会員権販売を開始しましたが、前年同期は平成27年6月に販売開始したベイコート倶楽部シリーズの第2弾「芦屋ベイコート倶楽部」の新規発売の著しい効果があり、一時的に契約高が増大したのに対し、当期はその効果が一巡し、会員権の販売量が減少したことなどにより、売上高は65,207百万円（前年同期比0.8%減）、営業利益は4,727百万円（前年同期比46.7%減）となり、為替差損の影響があったことから、経常利益は4,761百万円（前年同期比50.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,612百万円（前年同期比48.8%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。なお、「セグメント利益」は「営業利益」であります。

②セグメントの業績概況

【会員権事業】

	前第2四半期 連結累計期間 (実績)	当第2四半期 連結累計期間 (実績)	当第2四半期 連結累計期間 (計画)	前年同期比	計画比
売 上 高	17,744百万円	13,804百万円	19,490百万円	△22.2%	△29.2%
セグメント利益	3,992百万円	1,249百万円	2,950百万円	△68.7%	△57.6%

会員権事業におきましては、平成28年8月に、新たに完全会員制リゾートホテル「ラグーナベイコート倶楽部」（愛知県蒲郡市）の会員権販売を開始しましたが、前年同期には平成27年6月に販売開始したベイコート倶楽部シリーズの第2弾「芦屋ベイコート倶楽部」の新規発売の効果があつたのに対し、効果が一巡し、会員権の販売量が減少したことなどにより減収減益となりました。

【ホテルレストラン等事業】

	前第2四半期 連結累計期間 (実績)	当第2四半期 連結累計期間 (実績)	当第2四半期 連結累計期間 (計画)	前年同期比	計画比
売 上 高	37,083百万円	37,863百万円	39,060百万円	+2.1%	△3.1%
セグメント利益	3,038百万円	1,682百万円	2,050百万円	△44.6%	△17.9%

ホテルレストラン等事業におきましては、平成28年3月に開業した「エキシブ鳥羽別邸」が通期稼動し売上拡大に寄与した一方で、台風等天候不順が多かったこと、新規開業に備えた人員体制強化に伴う人件費や営繕費等の費用が増加したことなどにより増収減益となりました。

【メディカル事業】

	前第2四半期 連結累計期間 (実績)	当第2四半期 連結累計期間 (実績)	当第2四半期 連結累計期間 (計画)	前年同期比	計画比
売 上 高	10,206百万円	12,903百万円	12,510百万円	+26.4%	+3.1%
セグメント利益	1,632百万円	1,571百万円	1,570百万円	△3.7%	+0.1%

メディカル事業におきましては、医療施設経営に対するコンサルティングを行う(株)厚生を連結の範囲に含めたことに加え、シニアライフ事業の拡大により売上高が増加したこと、会員数の増加に伴い年会費収入が増加した一方で、間接費用の配賦額が増大したことなどにより増収減益となりました。

【その他】

	前第2四半期 連結累計期間 (実績)	当第2四半期 連結累計期間 (実績)	当第2四半期 連結累計期間 (計画)	前年同期比	計画比
売 上 高	686百万円	636百万円	640百万円	△7.4%	△0.6%
セグメント利益	207百万円	223百万円	230百万円	+7.5%	△2.8%

その他におきましては、連結子会社であるアール・ティー開発(株)において当社グループへの賃貸割合が増加したことに伴い、オフィスビルの賃貸料収入が減少した一方で、営繕費等の減少などにより減収増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

四半期連結会計期間末の資産、負債、純資産等の状況に関する分析

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は392,798百万円（前連結会計年度末比3.6%の減少）となりました。これは、前連結会計年度末に比べ、仕掛販売用不動産が7,294百万円、のれんが4,405百万円、それぞれ増加した一方で、有価証券が18,512百万円、投資有価証券が3,645百万円、それぞれ減少したことなどによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は285,101百万円（前連結会計年度末比3.3%の減少）となりました。これは、前連結会計年度末に比べ、未払金が12,818百万円減少したことなどによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は107,696百万円（前連結会計年度末比4.3%の減少）となりました。これは、前連結会計年度末に比べ、その他有価証券評価差額金が2,611百万円、為替換算調整勘定が3,759百万円、それぞれ減少したことなどによるものであります。その結果、当第2四半期連結会計期間末における自己資本比率は26.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年10月28日付で直近の業績状況を鑑み、業績予想を修正しております。詳細は同日リリースの「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

平成29年3月期 通期連結業績予想数値（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

	前連結会計年度 (実績)	当連結会計年度 (修正計画)	増減比	当連結会計年度 参考(期初計画)
売 上 高	142,249百万円	152,000百万円	+6.9%	160,400百万円
営 業 利 益	18,640百万円	14,200百万円	△23.8%	17,700百万円
経 常 利 益	19,439百万円	15,100百万円	△22.3%	19,500百万円
親会社株主に帰属する 当期純利益	13,044百万円	10,200百万円	△21.8%	13,200百万円

通期業績見通しについては、「エキシブ湯河原離宮」が開業を迎えることで繰延べられてきた不動産収益が一括計上されるほか、平成28年8月に販売開始した完全会員制リゾートホテル「ラグーナベイコート倶楽部」の会員権販売を見込んでおります。また、メディカル事業において「ハイメディック京大病院」、「ハイメディック名古屋

屋」など検診施設の増強が見込まれる一方で、前年同期は「芦屋ベイコート倶楽部」の新規発売効果が顕著であったが既に効果が一巡したことなどから、当社グループ全体として売上高 152,000百万円（前年同期比 6.9%増）、営業利益 14,200百万円（同 23.8%減）、経常利益 15,100百万円（同 22.3%減）、親会社に帰属する当期純利益 10,200百万円（同 21.8%減）を見込んでおります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

メディカル事業において、連結子会社である㈱H&Oメディカルが㈱厚生の株式を取得したことに伴い、第1四半期連結会計期間より、同社を連結子会社といたしました。さらに、当第2四半期連結会計期間より、当社の持分法適用関連会社であった㈱C I C Sに対し、連結子会社の㈱ハイメディックが追加出資を行い、株式の追加取得をしたことにより、同社を連結子会社といたしました。

また、会員権事業及びメディカル事業等において、連結子会社であったベストクレジット㈱が、ジャストファイナンス㈱に吸収合併されたことに伴い、第1四半期連結会計期間より、連結の範囲から除外いたしました。

この結果、平成28年9月30日現在では、当社グループは、当社、連結子会社18社及び持分法適用会社6社により構成されることとなりました。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、これによる損益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,742	23,350
受取手形及び売掛金	6,738	7,761
営業貸付金	38,050	38,646
有価証券	28,466	9,953
商品	785	873
販売用不動産	5,614	4,818
原材料及び貯蔵品	957	1,266
仕掛販売用不動産	27,902	35,197
繰延税金資産	3,985	3,943
その他	11,077	6,204
貸倒引当金	△1,069	△1,034
流動資産合計	147,250	130,981
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	93,458	87,828
機械装置及び運搬具（純額）	2,059	2,211
コース勘定	7,568	7,568
土地	40,561	40,980
リース資産（純額）	2,835	4,126
建設仮勘定	5,588	6,944
その他（純額）	4,812	4,311
有形固定資産合計	156,884	153,972
無形固定資産		
のれん	146	4,552
ソフトウェア	1,833	2,210
その他	2,360	2,681
無形固定資産合計	4,341	9,445
投資その他の資産		
投資有価証券	82,506	78,860
関係会社株式	1,665	1,693
長期貸付金	4,207	4,430
退職給付に係る資産	1,068	1,039
繰延税金資産	1,924	3,168
その他	9,439	11,046
貸倒引当金	△1,857	△1,839
投資その他の資産合計	98,954	98,399
固定資産合計	260,179	261,817
資産合計	407,430	392,798

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,123	1,143
短期借入金	2,500	—
1年内返済予定の長期借入金	10,342	8,168
1年内償還予定の社債	450	250
リース債務	365	551
未払金	20,755	7,936
未払法人税等	1,426	1,839
未払消費税等	668	796
前受金	25,227	33,586
前受収益	11,535	10,638
債務保証損失引当金	163	148
その他	7,234	8,661
流動負債合計	81,794	73,720
固定負債		
社債	3,700	3,575
新株予約権付社債	30,242	30,221
長期借入金	59,723	57,805
リース債務	2,675	3,883
繰延税金負債	851	860
役員退職慰労引当金	2,306	2,132
株式給付引当金	904	960
退職給付に係る負債	1,272	1,403
長期預り保証金	103,098	100,765
負ののれん	342	281
その他	8,001	9,490
固定負債合計	213,119	211,381
負債合計	294,914	285,101
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,588	19,588
資本剰余金	22,583	22,562
利益剰余金	65,938	67,060
自己株式	△3,451	△3,070
株主資本合計	104,657	106,140
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	616	△1,995
為替換算調整勘定	3,334	△425
退職給付に係る調整累計額	△256	△233
その他の包括利益累計額合計	3,694	△2,654
新株予約権	16	—
非支配株主持分	4,146	4,210
純資産合計	112,515	107,696
負債純資産合計	407,430	392,798

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
売上高	65,721	65,207
売上原価	7,793	8,506
売上総利益	57,928	56,700
販売費及び一般管理費		
給料及び賞与	20,139	20,382
役員退職慰労引当金繰入額	173	195
修繕維持費	1,458	1,734
貸倒引当金繰入額	185	—
債務保証損失引当金繰入額	25	—
水道光熱費	2,741	2,416
減価償却費	3,228	3,428
その他	21,104	23,815
販売費及び一般管理費合計	49,057	51,972
営業利益	8,870	4,727
営業外収益		
受取利息	1,039	1,100
受取配当金	52	47
割賦利息及び手数料	0	0
負ののれん償却額	60	60
貸倒引当金戻入額	—	48
債務保証損失引当金戻入額	—	15
持分法による投資利益	0	43
その他	111	225
営業外収益合計	1,264	1,541
営業外費用		
支払利息及び社債利息	249	286
前受金保証料	29	52
シンジケートローン手数料	4	17
控除対象外消費税等	56	69
貸倒引当金繰入額	72	—
為替差損	88	1,039
その他	64	41
営業外費用合計	564	1,507
経常利益	9,570	4,761

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
特別利益		
段階取得に係る差益	—	1,334
固定資産売却益	0	1
投資有価証券売却益	1,249	1,043
投資有価証券償還益	—	114
関係会社株式売却益	5	1
新株予約権戻入益	11	6
その他	—	0
特別利益合計	1,266	2,501
特別損失		
持分変動損失	1,398	—
減損損失	—	1,334
固定資産除却損	24	107
固定資産売却損	0	1
投資有価証券売却損	—	0
関係会社株式売却損	—	7
役員退職慰労金	—	105
寄付金	—	97
その他	2	—
特別損失合計	1,425	1,652
税金等調整前四半期純利益	9,412	5,610
法人税、住民税及び事業税	2,475	1,703
法人税等調整額	△174	276
法人税等合計	2,301	1,980
四半期純利益	7,110	3,630
非支配株主に帰属する四半期純利益	48	17
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,062	3,612

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
四半期純利益	7,110	3,630
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,869	△2,612
為替換算調整勘定	565	△3,759
退職給付に係る調整額	△28	22
その他の包括利益合計	△1,332	△6,349
四半期包括利益	5,778	△2,718
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,735	△2,735
非支配株主に係る四半期包括利益	42	16

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	9,412	5,610
減価償却費	3,385	3,741
減損損失	—	1,334
のれん及び負ののれん償却額	△12	176
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	259	△51
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△22	178
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	163	△80
受取利息及び受取配当金	△1,091	△1,147
支払利息及び社債利息	249	286
為替差損益 (△は益)	78	990
売上債権の増減額 (△は増加)	△7,810	△1,654
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△9,743	△6,750
仕入債務の増減額 (△は減少)	34	39
未払金の増減額 (△は減少)	△1,091	△4,145
前受金の増減額 (△は減少)	11,507	7,188
長期預り保証金の増減額 (△は減少)	△2,386	△2,466
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△1,619	511
その他	746	2,175
小計	2,058	5,937
利息及び配当金の受取額	972	1,219
利息の支払額	△251	△286
法人税等の支払額	△4,700	△1,253
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,921	5,616
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△215	△753
定期預金の払戻による収入	265	1,292
有価証券の取得による支出	△45,502	△5,658
有価証券の売却及び償還による収入	41,500	22,137
投資有価証券の取得による支出	△34,716	△7,293
投資有価証券の売却及び償還による収入	8,500	7,072
関係会社株式の取得による支出	△0	—
関係会社株式の売却による収入	7	9
有形及び無形固定資産の取得による支出	△5,476	△12,151
貸付けによる支出	△77	△120
貸付金の回収による収入	84	80
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△5,475
その他	△1,031	△275
投資活動によるキャッシュ・フロー	△36,662	△1,134

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	—	△2,500
長期借入れによる収入	500	300
長期借入金の返済による支出	△3,485	△4,541
社債の償還による支出	△225	△325
自己株式の取得による支出	△2	△0
自己株式の処分による収入	230	265
配当金の支払額	△2,425	△2,490
その他	2,092	2,071
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,315	△7,220
現金及び現金同等物に係る換算差額	△52	△31
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△41,951	△2,768
現金及び現金同等物の期首残高	66,404	25,476
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△944	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	23,508	22,707

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	会員権事業	ホテルレストラン等事業	メディカル事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	17,744	37,083	10,206	65,034	686	65,721
セグメント間の内部売上高又は振替高	152	1,435	20	1,608	291	1,900
計	17,896	38,518	10,227	66,642	978	67,621
セグメント利益	3,992	3,038	1,632	8,663	207	8,870

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業、別荘管理業等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	8,663
「その他」の区分の利益	207
四半期連結損益計算書の営業利益	8,870

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	会員権事業	ホテルレストラン等事業	メディカル事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	13,804	37,863	12,903	64,571	636	65,207
セグメント間の内部売上高又は振替高	135	1,278	4	1,419	371	1,790
計	13,940	39,142	12,907	65,990	1,007	66,998
セグメント利益	1,249	1,682	1,571	4,504	223	4,727

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業、別荘管理業等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	4,504
「その他」の区分の利益	223
四半期連結損益計算書の営業利益	4,727

3 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更したため、事業セグメントの減価償却の方法を同様に変更しております。

なお、当該変更による影響額は軽微であります。

4 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「メディカル事業」セグメントにおいて、平成28年4月1日付で㈱厚生株式を取得したことにより、同社を連結子会社化しました。また、当社の持分法適用関連会社であった㈱C I C Sの株式を追加取得したことにより、平成28年9月30日より同社を連結子会社化しています。

当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においてはそれぞれ、3,999百万円、1,977百万円であります。

なお、㈱C I C Sの収益力及び今後の事業計画を再検討した結果、のれんの一部を回収可能額まで減額し、1,334百万円を減損損失として特別損失に計上しています。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。